

【英語・中1・「Program 7 Research on Australia」①】

育成を目指す資質・能力

【本時のねらい】（第1時／全8時間）

群馬の名所等を紹介するために、試しの活動を通して、必要な情報や表現について考え、見通しがもてるようにする。

ICT活用のポイント

- ①伝える必要感を感じさせるための動画の活用
- ②思いや考えをもたせるための学習支援ソフトの活用
- ③振り返りにおける表計算ソフトの活用

1 単元の課題をつかむ。

動画を見て、前ALTからのメッセージについて理解し、本単元の目標を考える。

2 本時の活動に取り組む。

群馬の名所等について情報を検索、収集、整理し、友達同士で紹介し合う。（試しの活動）

3 本時の振り返りをする。

学習したことを振り返り、課題解決に向けて前ALTに聞きたいことを質問する。

事例の概要

1 単元の課題をつかむ。①

- ・必要感のある言語活動にするため、前ALTから「群馬について教えてほしい。」というメッセージを動画で見る。
- ・各自のICT端末で動画を自分のペースで何度も見ることで、前ALTの好きなことや好きな食べ物などについて自分の耳で聞き取る。

2 本時の活動に取り組む。②

- ・前ALTの好み等に合うよう群馬の名所等について情報を検索、収集、整理し、伝えようとする内容を学習支援ソフトにまとめる。
- ・学習支援ソフトにまとめた情報を基に既習表現だけで群馬の名所等について友達同士で紹介し合う。（試しの活動）

3 本時の振り返りをする。③

- ・内容面や言語面について気付いたことや感じたことについて振り返り、アンケートフォームに記録する。
- ・聞き手にとってより魅力的な内容で分かりやすい発表にするため、前ALTへの質問をアンケートフォーム入力する。

【英語・中1・「Program 7 Research on Australia」】②

【①伝える必要感を感じさせるための動画の活用】



1 単元の課題をつかむ

遠くに住む英語話者からのメッセージを生徒が自分で聞き取ることにより、設定された目的や状況を現実のことと受け止め、明確な目的意識や相手意識をもって学習に取り組むことができた。

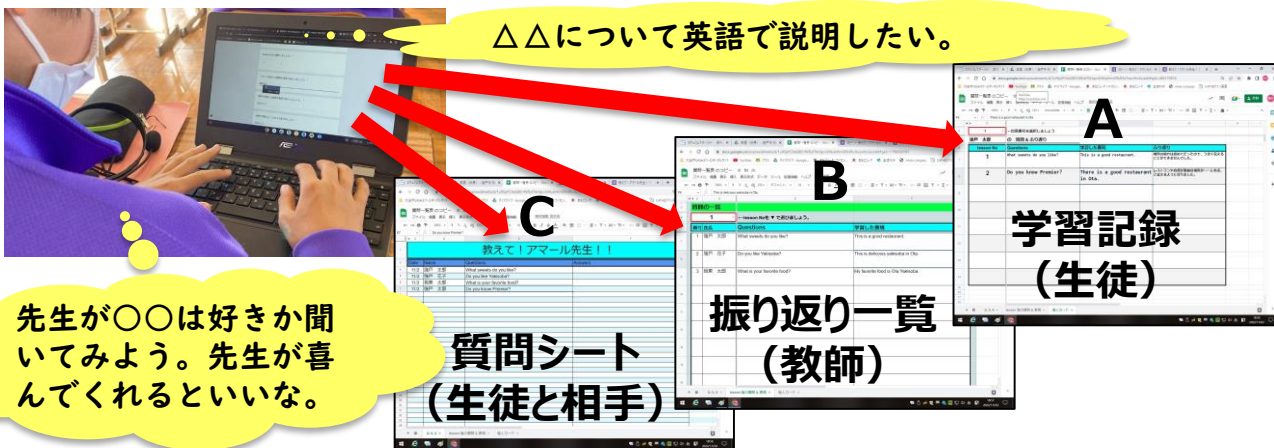
【②自分の思いや考えをもたせるための学習支援ソフトの活用】



2 本時の活動に取り組む。

個に応じた情報の検索や収集、学習支援ソフトでのマッピングによる情報の整理を通して、思考や試しの時間を十分確保でき、単元の見通しをもつことができた。

【③振り返りにおける表計算ソフトの活用】



3 本時の振り返りをする。

振り返りの内容を3つのデータに振り分け次時以降に生かした。

A 生徒が自分の学習記録として自己の学びを確認した。

B 教師が各授業毎の振り返りを次時の指導に生かした。

C 遠くに住む英語話者がデータを共有し質問に随時回答した。